

麻溝・新磯地区 民俗編調査から

第15号でもお伝えしたとおり、民俗編では、2003(平成15)年10月から麻溝・新磯地区の調査を行ってきました。これは、地域に伝わる伝承などを明らかにし、2009(平成21)年度刊行予定の市史・民俗編にまとめるためのものです。調査については、全国各地の自治体史等で民俗調査を行ってきた研究者11人で、民俗部会を構成して進めています。今回は、調査の様子を紹介します。

まず、8月8日(日)、磯部地区の相模川で行われた、帆かけ舟復元実演会の調査です。帆かけ舟は昭和の初期まで相模川の水運交通を担っていました。昭和58年に、明治時代に使われていた帆が発見され、以降ほぼ毎年8月初旬に復元されているそうです。当日は写真の撮影をし、さらに関係者のお話を聞くことができました。その後は、相模の大風センターで開催中の「相模川の帆かけ舟特別展」を観覧しました。



帆かけ船走行の様子を調査する民俗部会員

8月11日(水)には、麻溝公民館で

行われた「酒まんじゅうづくり講習会」に伺いました。酒まんじゅうは、相模原の夏の食べ物として祭礼時などに作られています。講師と参加者のみなさんへの聞き取りから、地域の味の歴史や、作り方を伝承する必要性が理解できました。



酒まんじゅう作りの様子を写真撮影

ほかに8月には、当麻山無量光寺や個人宅でも数多くの盆行事が行われ、それらの調査も合わせて実施しました。

民俗編の調査は、ふだん地域で行われている行事などを丹念に調べることが中心です。今後も、市史続編刊行の基礎調査として、精力的に進めていきます。

最後になりましたが、今回お世話になりました麻溝・新磯地区のみなさん、ご協力ありがとうございました。(主任 方波見 淳)

市史編さん審議会を開催

7月29日(木)に、平成16年度第1回の市史編さん審議会が開催されました。まず、現代図録編の刊行が間近に迫ってきたことから、事務局が作業の進行状況を報告しました。委員からは「年号の書き方の統一化」や「写真番号はタイトルの後にした方が読みやすい」などの意見が出ました。次に、市制50周年記念展について説明し、委員から「おもしろそうな展示になりそうなので、しっかりPRを」との意見が出ました。事務局では、頂いた意見をさらに検討し、今秋の図録編刊行と記念展の準備を進めます。



現代図録編について、完成見本を使い説明

市史編集委員会を開催

前任期が満了となり、8月1日付けで、改めて今後2年間の委嘱を行いました。また、8月3日(火)に、平成16年度第1回の市史編集委員会が開催されました。

■相模原市市史編集委員会 委員名簿 (五十音順)

氏名	専門分野	現職等
石井 篁	郷土史	相模原郷土懇話会会長
岩野 秀俊	昆虫学	日本大学生物資源科学部助教授
小川 直之	民俗学	國學院大学文学部教授
加藤 修	考古学	女子美術大学芸術学部教授
神崎 彰利	日本近世史	市史編さん室特別顧問
金原 左門	日本近代史	中央大学名誉教授
栗田 尚弥	日本現代史	國學院大学文学部講師
清水 擴	日本建築史	東京工芸大学工学部教授
浜田 弘明	人文地理学	桜美林大学資格・教職教育センター助教授
町田 洋	地形学	東京都立大学名誉教授

市史7巻セット1万円・相模原市史ノート350円で販売中

平成16年度に限り、既刊の「市史全7巻セット」を1万円で販売しています。100セット限定ですので、この機会にぜひお求め下さい。

「相模原市史ノート」は今回が創刊号です。専門研究者執筆の論文のほか、市史編さん室職員による、占領期における相模原の広報活動についてなどの興味深いレポートもあります。

お求めは市史編さん室か市役所行政資料コーナーへどうぞ。

前市史編集室の

写真から 18

写真は 1966(昭和 41)年に鵜野森地区で撮影されたもので、上鶴間方向を見た風景です。道路は、市道淵野辺中和田ですが、「国道 16 号の旧道」と呼ぶ方がわかりやすいようです。国道 16 号と境川に沿っており、



その一部は「山野通り」とも呼ばれています。

かつてこの道は、上鶴間や淵野辺などの各村を通過して、甲州街道の宿場町として古くから栄えた八王子へ向かう人々が利用していました。

鵜野森の地名の由来は、文字通りこの地に鵜が生息し、雑木林があったからと伝えられています。1993(平成 5)年に住居表示が実施されましたが、地名は鵜野森一～三丁目として残っています。



下の写真は 2002(平成 14)年に撮影したものです。側溝は蓋で覆われ、道路には白線が引かれました。周辺の木々の成長ぶりにも驚かされます。(主任 方波見 淳)



市史編さん室の新しいスタッフです

田中 秀典(たなか・ひでのり)調査員

7月1日から調査員になりました。よりよい「市史」ができるよう、精一杯努力したいと思っております。よろしくお願いいたします。

現代図録編刊行 ～購入方法は次号をご覧ください～

現在編さん作業中の市史「現代図録編」は、今秋完成いたします。ご希望の方には市史編さん室・市役所行政資料コーナーほかで販売するほか、遠方の場合は、配送の取扱いも行う予定です。お求めの方法につきましては、市史編さんだより第 21 号(11 月 1 日発行予定)で詳しくお知らせします。また、告知チラシ・ポスターを市内の主な公共施設に配置・掲示しますので、ご覧ください。なお、事前予約は行っておりません。ご了承ください。



編さん室の動き (7月～8月)

月	日	内 容
7	1	市史編さんだより第19号発行 企画政策課等と主要事業ヒアリング(本庁)
	2	現代図録部会開催 現代図録編作成委託について印刷会社と打ち合わせ(28日にも実施)
	16	現代資料編関連、教育史編さん時収集資料調査(光が丘小学校)
	23	近現代部会開催
	29	市史編さん審議会開催 神史協研修会へ参加(横浜開港資料館)
	30	情報公開室と現代図録編販売方法について打ち合わせ
	8	3
4		現代資料編関連、教育史編さん時収集資料調査(光が丘小学校)
5		情報システム課等とホームページ開設について打ち合わせ
7		近現代部会部会員打ち合わせ(28日にも開催)
10		八王子市郷土資料館へ資料収集 現代図録編作成委託について印刷会社と打ち合わせ
17		沼津工業高等専門学校へ考古資料分析依頼
19		田名出張所と民俗編調査について打ち合わせ

市制50周年記念展開催！

「相模原—その開発と変貌—」をテーマに、江戸時代から現代までの相模原の歴史を振り返る特別展を開催します。

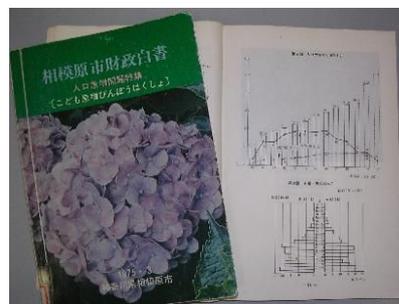
主催 相模原市立博物館・相模原市

会期 第1部「原野からの出発」 平成16年10月2日(土)～11月3日(水・祝)

第2部「変わりゆくまち」 平成16年11月13日(土)～平成17年1月16日(日)

会場 相模原市立博物館特別展示室 観覧料 無料

開館時間 午前9時30分～午後5時 休館日 月曜日・祝日の翌日・年末年始



展示資料から

「相模原市財政白書(こども急増びんぼうはくしよ)」(1975年)

「さがみはら市史編さんだより」第20号

発行 2004(平成16)年9月1日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp